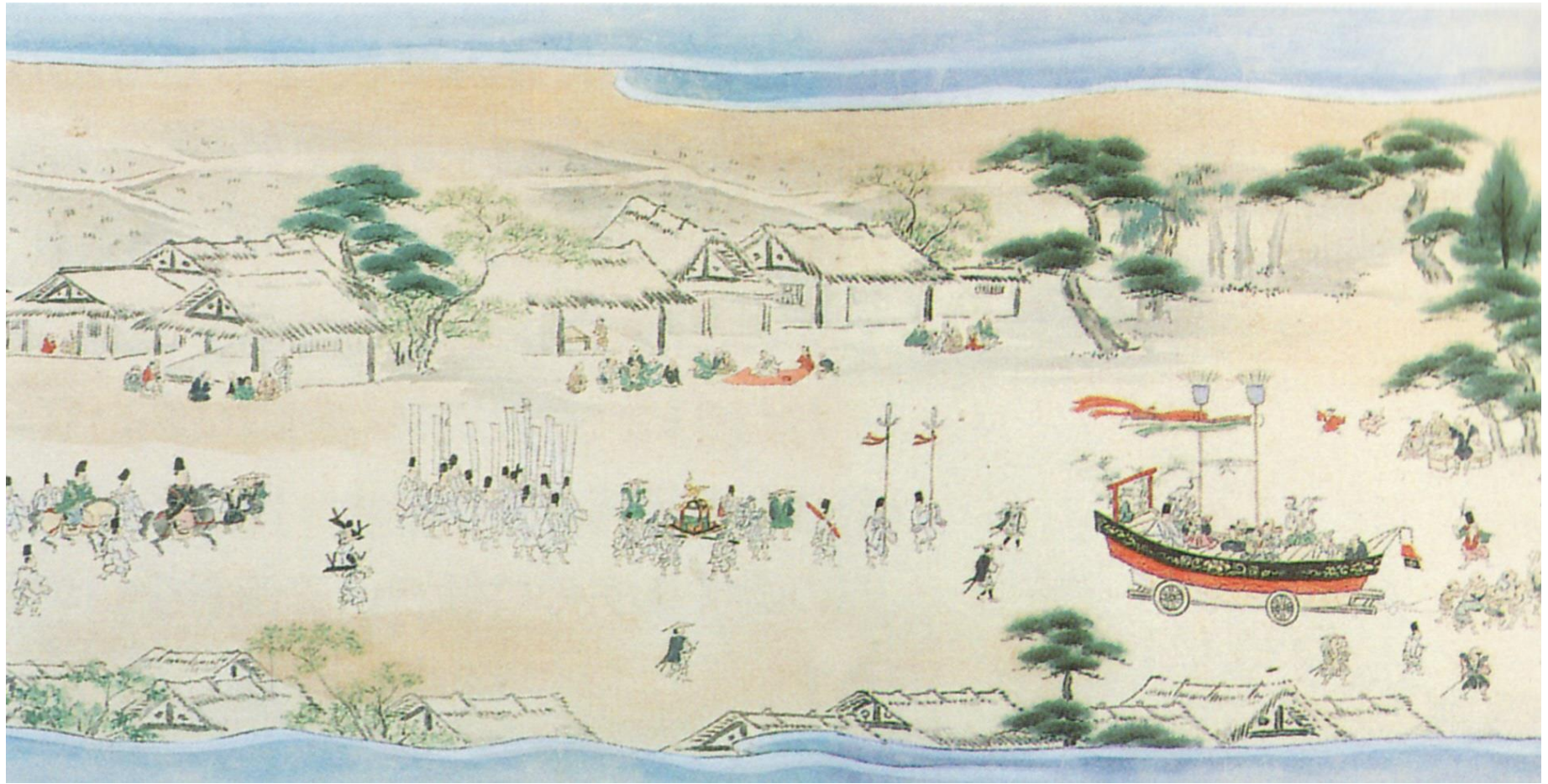
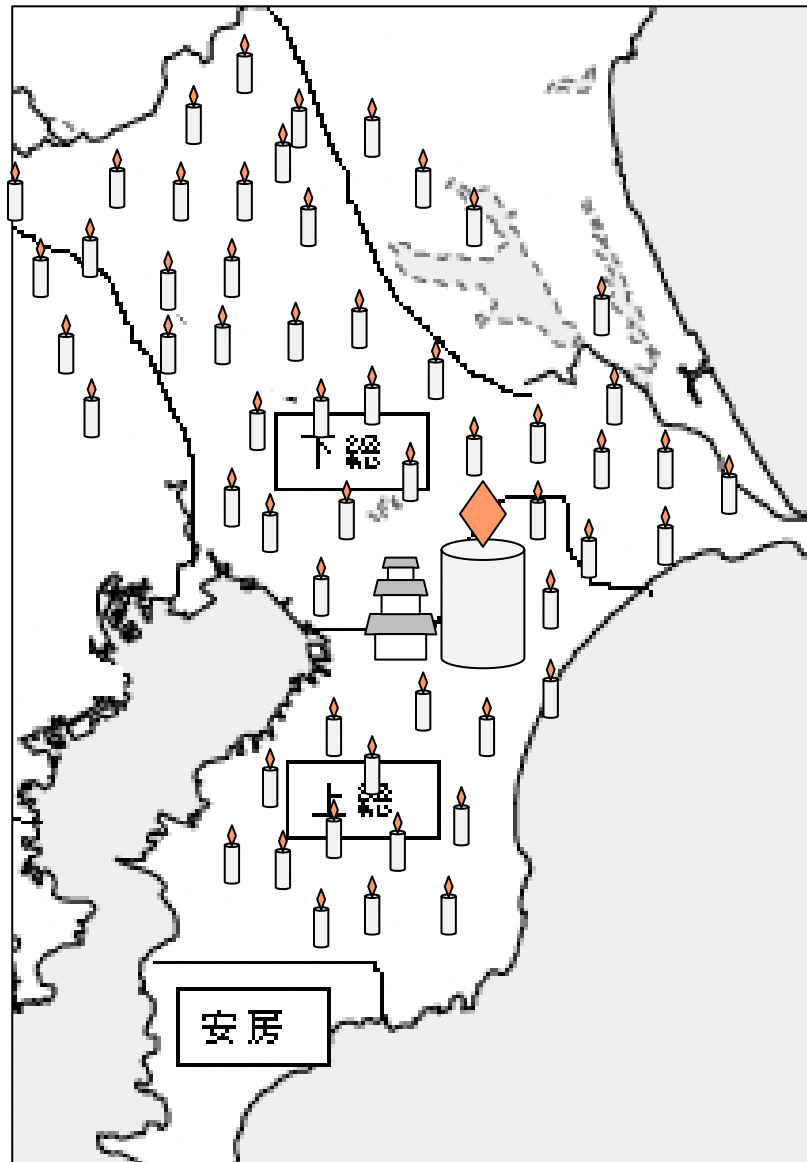


# 『妙見大祭について』



2018年5月27日 千葉氏顕彰会理事・千葉市議会議員 小川 智之

# 千葉氏と御本霊・御分霊



- 931年 染谷川の合戦
  - 七星山息災寺(上野国・群馬)
- 御神体(御本霊)を  
本家の城へ

御本霊: 本家の城内

御分霊: 領地各地

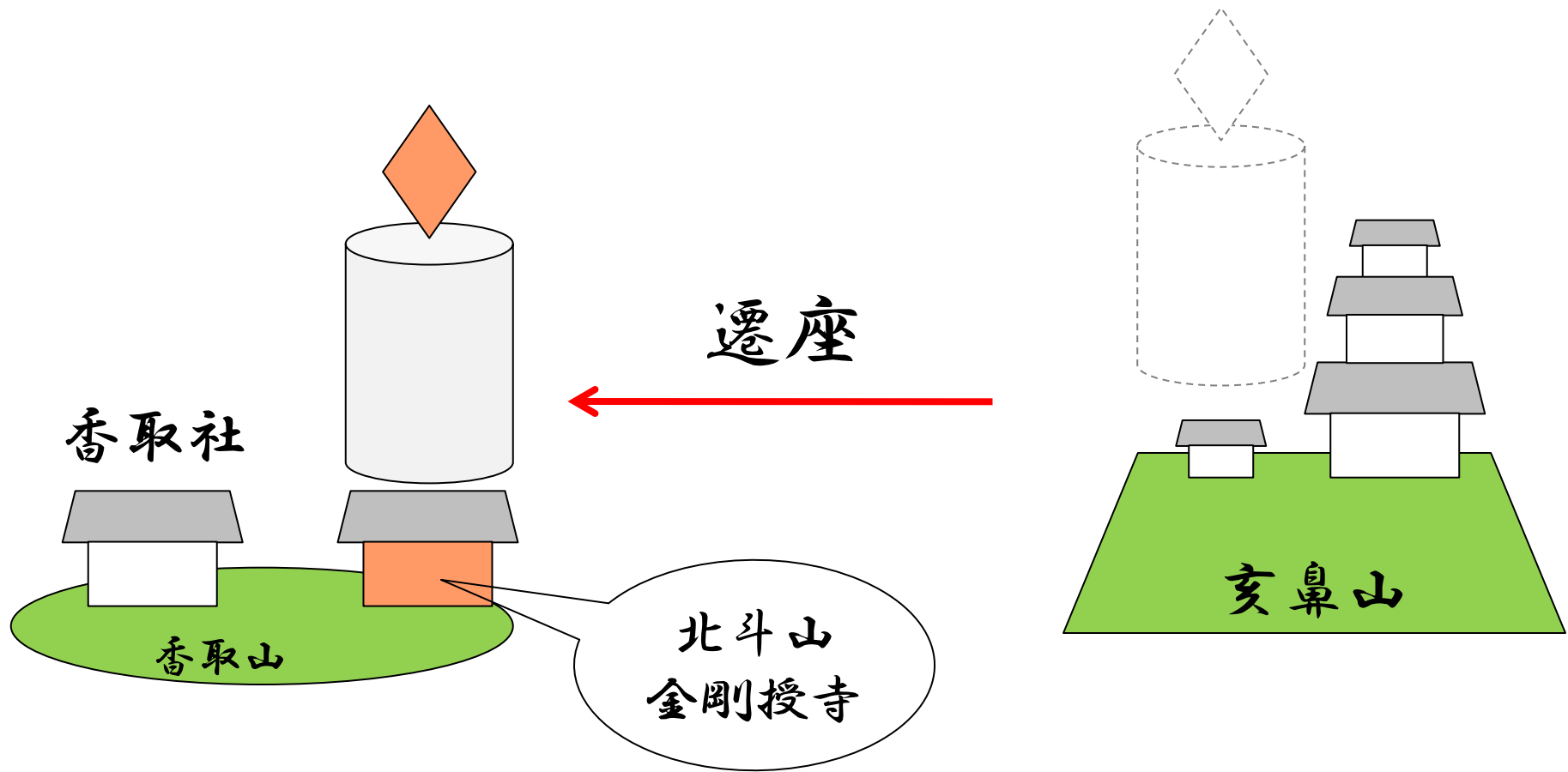
→ 県内200~300の社寺

→ 分家と共に東北・九州へ

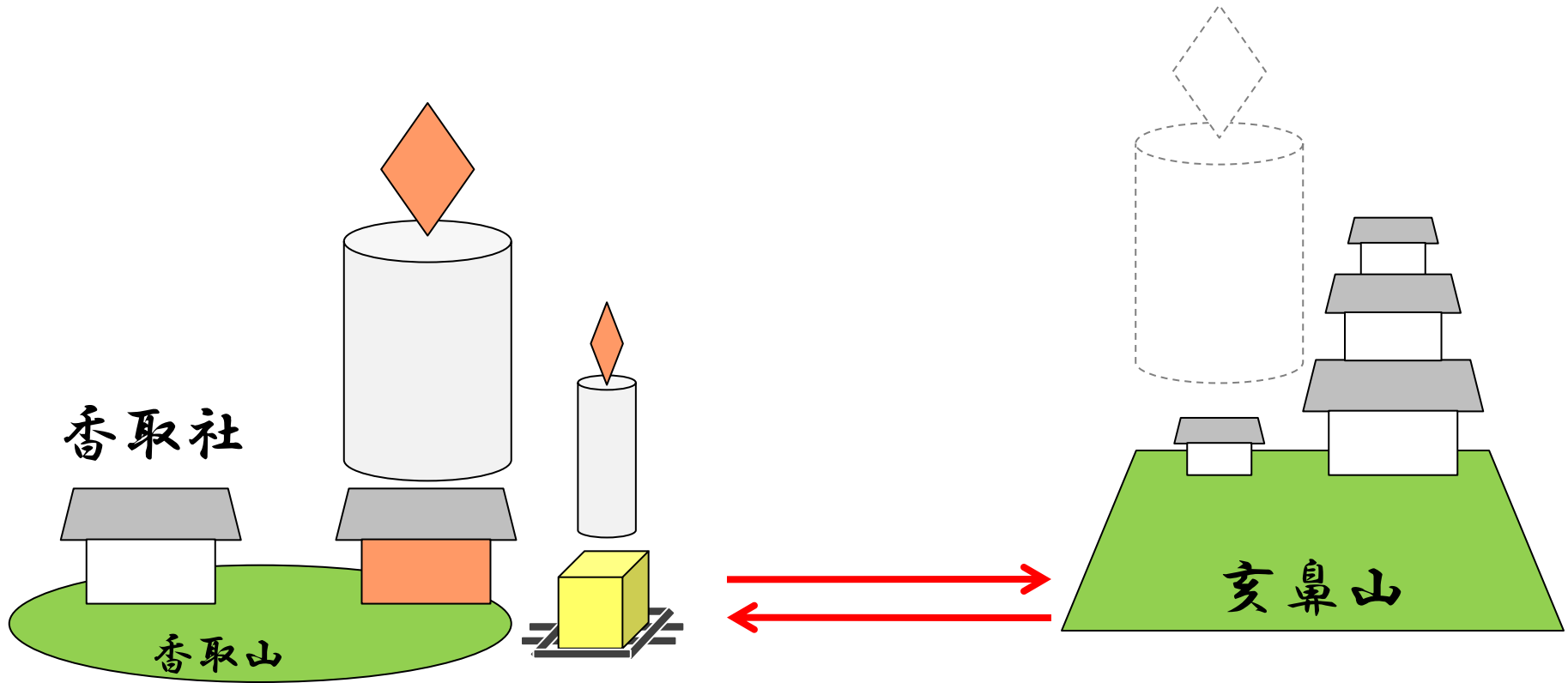
# 亥鼻城への移転



- 七代目: 千葉常重のころ
- 大椎城(土気駅、緑区大椎町)  
→1126年 亥鼻城へ移転



- 1126年 大椎城より亥鼻城へ移転  
北斗山金剛授寺を伽藍整備

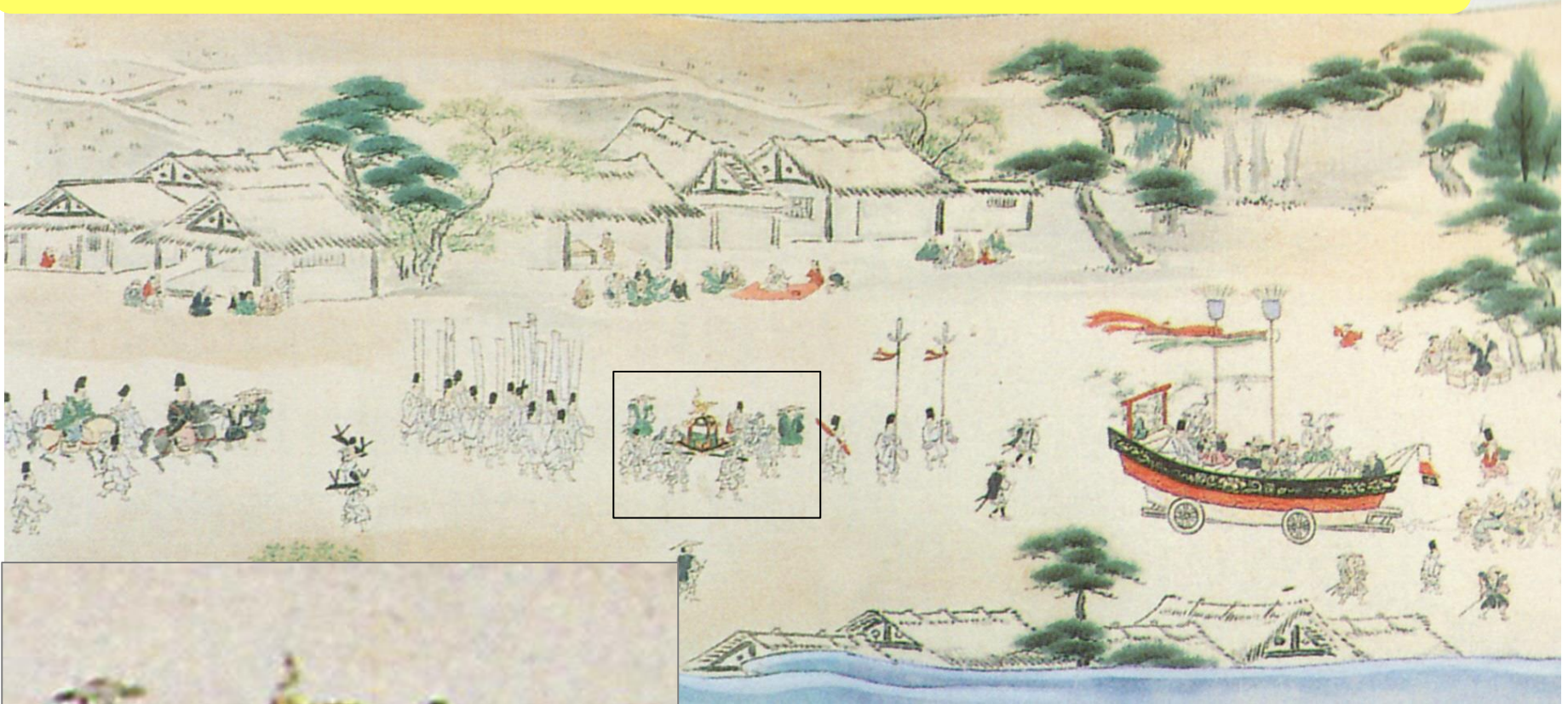


1127年 第1回 妙見大祭

妙見さまのご縁日 = 22日が最終日

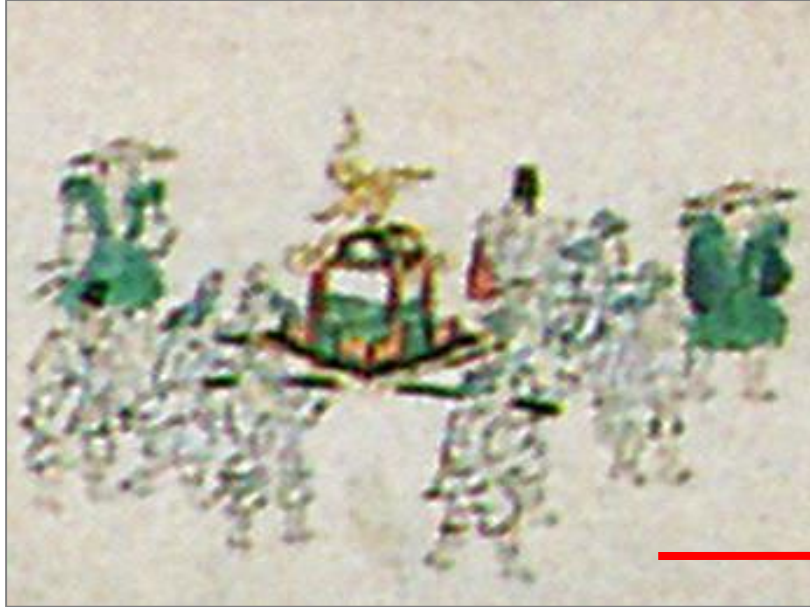
北斗七星への願掛け = 16日が初日

# 絵巻に残るお祭りの様子



- 「鳳輦」という小さな輿
- 担ぎ手数人、静々と、恭しく

# 鳳輦から神輿へ



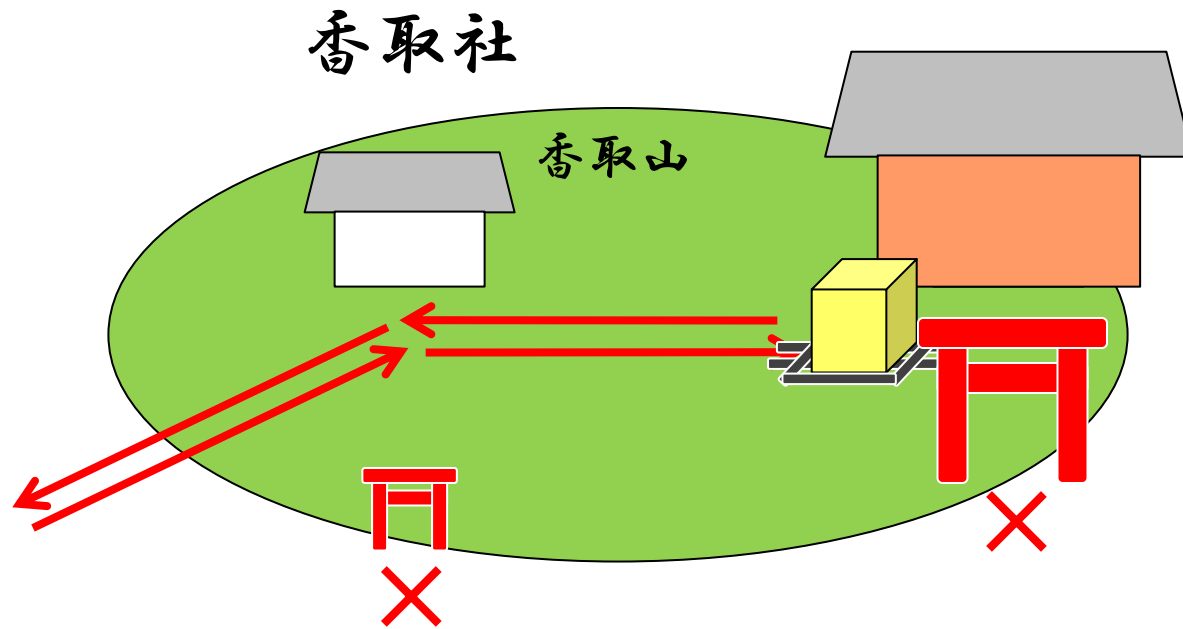
- 江戸時代 町民文化の発展 → 江戸神輿の影響
- 神社様式のお祭り → 明治より「千葉神社」へ

# 担ぎ方・揉み方・差し方





# 香取社への礼儀



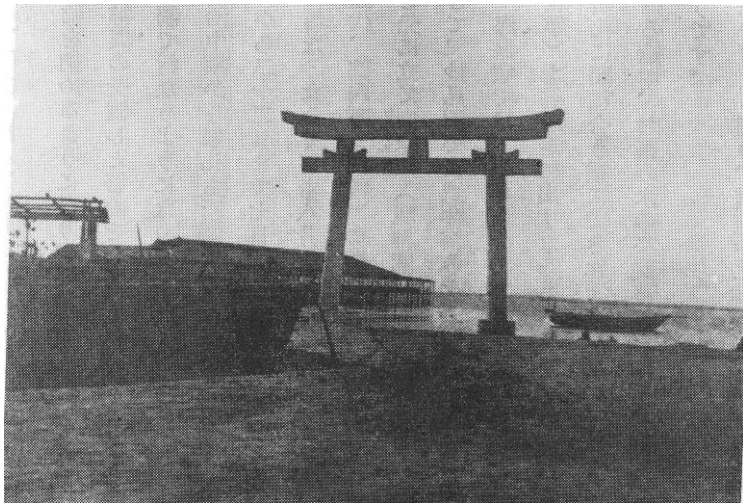
- (1) 香取山の中では鳳凰をつけない
- (2) 鳳凰をつけずに香取社前で神事
- (3) 香取社の鳥居をくぐってはならない

# 担ぎ手衆の変遷

初期	全行程	和田両家・大塚家・小川家 →院内全氏子
江戸末期	社殿内 境内～	院内 16・22交代 具塚村・辺田村
明治中期 【年番制】	社殿内 境内～	院内 年番町会（明治36 + 院内）
戦後 【連合制】	社殿内 境内～	院内（+ 一部町会・保存会） 全町会

# 塩垢離神事

- 例祭前日の8/15の夜
- 網元・海保家での改服 (1864年～現在)
- 妙見洲での海中禊→鳥居跡での神事



# 担ぎ手の装束



1954年 16日 新社殿にて宮出し



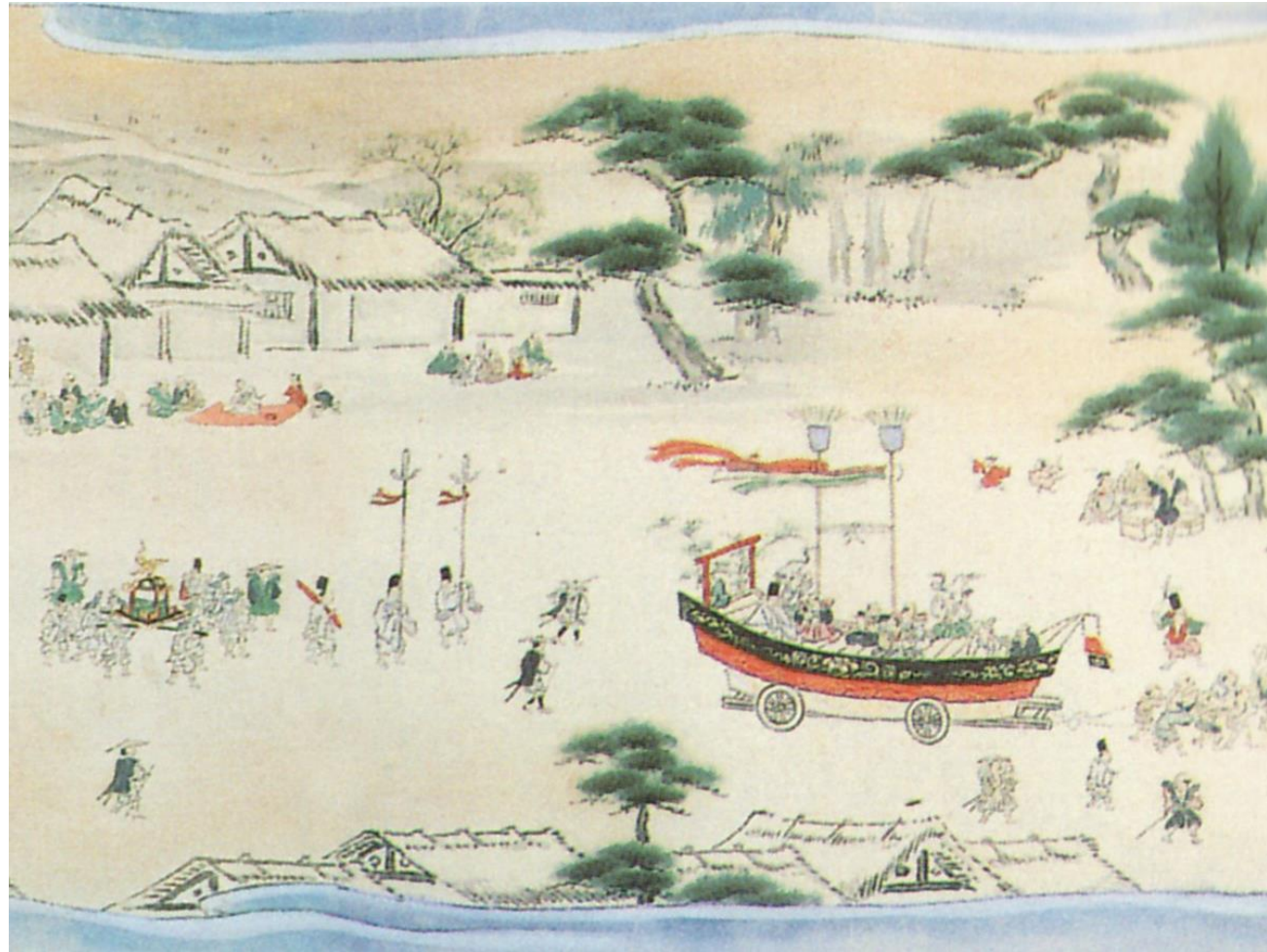
1954年 22日夜 新社殿にて昇殿勇め

# 山車



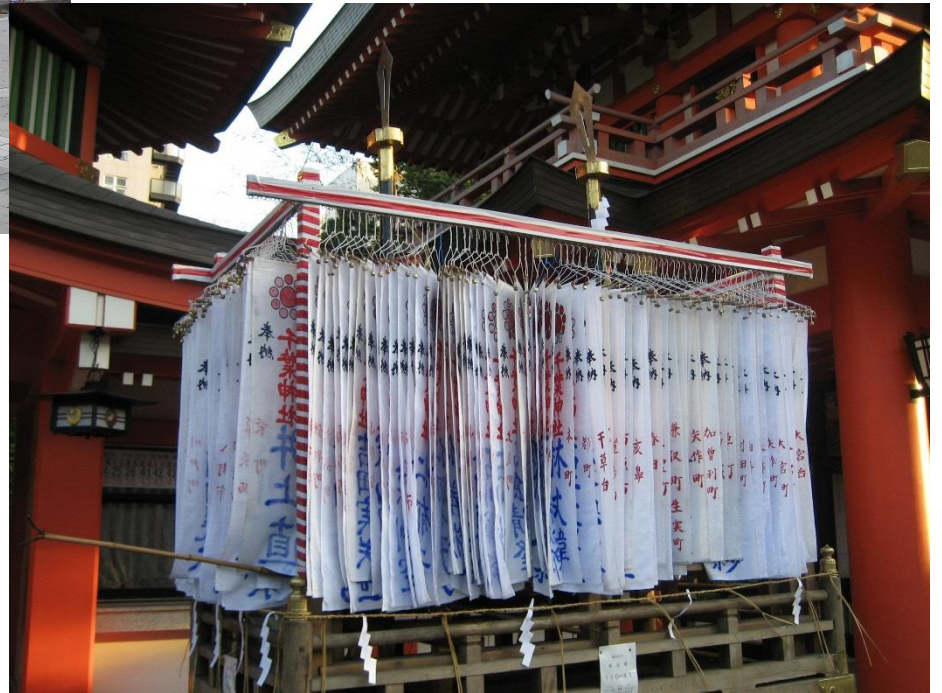
千葉舟(男舟):千葉の氏子( ?年~ ?年)

結城舟(女舟):寒川の氏子(1233年~1746~?年)



# 猿田彦・御鉾旗車

先導は天狗様



初日には子どもの健やかな成長を願う「おほこ旗祈願」が行われ、山車に掲げて引っ張ります。

# 別名「だらだら祭り」の由来

二段打ちで叩く大太鼓の音が「だらんだらん」と聞こえる





ご清聴ありがとうございました。